

トランプ政権は 無法なイラン攻撃を中止せよ 高市首相はアメリカ言いなりやめなさい

国連憲章違反の先制攻撃

——在日米軍からも出撃・攻撃が

アメリカとイスラエルは、2月28日、イランへの先制攻撃を開始。イランの最高指導者はじめ政権幹部を多数殺害し、全土への攻撃を繰り広げ、多数の民間人を殺戮しています。これは、一方的な武力行使を禁じた国連憲章違反の先制攻撃です。直ちに中止すべきです。

この攻撃に、在日米軍・横須賀基地のイージス艦2隻が参加し、トマホークミサイルで攻撃したことが確認されています。トマホークミサイルにより、イランの女子小学校が攻撃され、児童ら175人が殺害される事態も生まれています。この攻撃には、アメリカの同盟国からも「国連憲章違反」と批判の声が上がり、スペインのサンチェス首相は同国の基地の米軍使用を拒否しました。



批判せず、容認・協力する高市首相

ところが、高市首相と政権は、「情報を持ち合わせていない」などとして「我が国として法的評価をすることは差し控える」と、米政府を一切批判しない態度を取り続けています。そして、在日米軍基地からのイラン攻撃への参加を容認しています。これでは、紛争の平和的解決、武力の威嚇や行使を禁じた国連憲章に基づく平和秩序を守ることはできません。

高市首相は戦争協力やめ、国連憲章守れ

高市首相は恥ずべき態度を改め、トランプ大統領に「国連憲章守れ」と迫るべきです。また、在日米軍基地の使用や自衛隊の戦争協力など、きっぱり拒否すべきです。アメリカ言いなりの大軍拡もやめるべきです。

日本平和委員会

2026年3月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
「平和新聞」(月2回刊)、「平和運動」(月間)発行中

<http://j-peace.org/> (X) (f)

